

うすい  
 2月19日は雨水でした

二十四節気の「雨水（うすい）」は、降る雪は雨に変わり、積もった雪や張った氷は解け、水になっていくということを表します。

「雨水（うすい）」は、立春が過ぎ、本格的な春を迎える予備期間ともいえます。

今年の雨水（うすい）は、2月19日（土）から始まりました。

私たちも、本格的な春に向かって、準備を進めましょう。

子どもたちの様子より

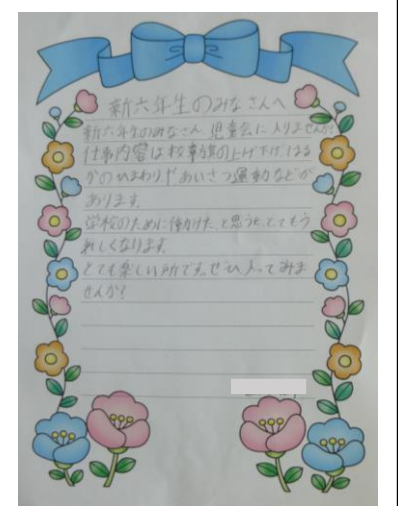
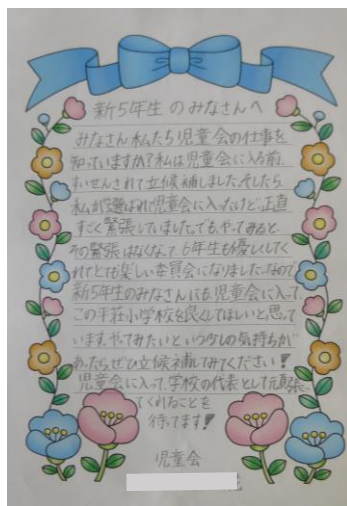
《児童会役員選出について》

来年度の児童会役員を選出するにあたり、現児童会役員が、4・5年生の教室に呼びかけに行きました。



学校のリーダーである児童会役員について、現児童会役員が説明を行いました。今年度、取り組んできた活動（『はるかのひまわり絆プロジェクト』『あいさつ運動』）いろいろな行事の司会等）について紹介し、来年度も、平荘小学校の児童会活動をさらに盛り上げてくれるよう期待しながら、役員選出の依頼を4・5年のクラスに行きかけて呼びかけました。

《朝の会の様子です》



5年生



朝の会で、スピーチをしています。日直のスピーチを聞いて、友だちが質問や感想を述べます。

『継続は力なり』です。

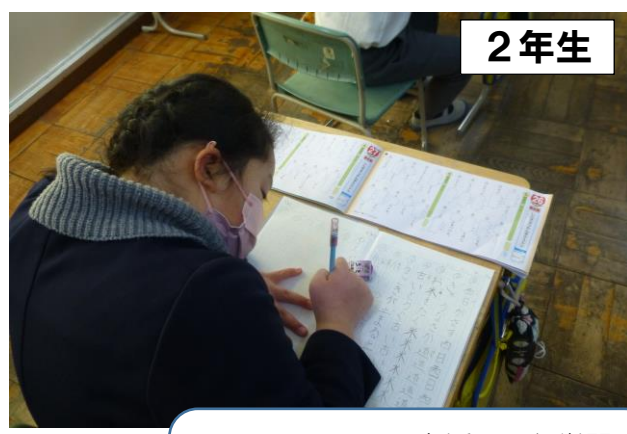
毎日交代でスピーチを行い、伝え合う力を育成しています。話す力や聞く力を伸ばしています。

## 《朝の学習タイム》 漢字の練習をしています

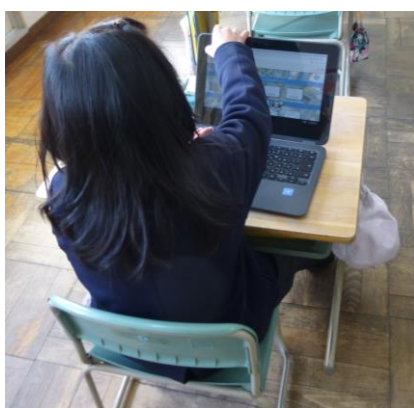
6年生



2年生

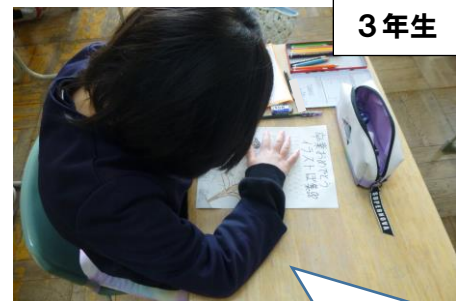


## 《タイピングの練習をしています：1年生》



Chromebook を活用した学習が進んでいます。そこで、スムーズにキーボードに慣れるように、タイピングの練習をしています。

3年生



掲示委員会の卒業に向けての募集プリントを仕上げています。

## 《体育の学習『キャッチバレーボール』：4年生》



まず、『ラジオ体操』をしてから縄跳び運動をしました。そして、キャッチバレーボールの練習を行いました。

ピンク色のタグロープをネット代わりにして、キャッチをしながら、相手チームの人のいない所にボールをパスするように練習しています。

